

令和元年度 和歌山市大規模な太陽光発電設備設置審議会の開催について

- 環境と和歌山平井太陽光発電事業との調和について、和歌山市大規模な太陽光発電設備設置審議会の開催状況等は次のとおりです。

	開催日	議題
第1回 (諮問)	令和元年11月19日(火)	環境と和歌山平井太陽光発電事業との調和について (概観について)
第2回	令和元年12月23日(月)	環境と和歌山平井太陽光発電事業との調和について
第3回	令和2年1月19日(日)	環境と和歌山平井太陽光発電事業との調和について
第4回	令和2年2月10日(月)	環境と和歌山平井太陽光発電事業との調和について (事業者への意見について)
第5回	令和2年2月28日(金)	環境と和歌山平井太陽光発電事業との調和について (事業者の見解について)
第6回	令和2年3月12日(木)	環境と和歌山平井太陽光発電事業との調和について (答申について)
答申	令和2年3月27日(金)	環境と和歌山平井太陽光発電事業との調和について

事業者への意見	令和2年2月17日(月)	事業者に対し、審議会の意見を 示し、見解を求めました。
見解書	令和2年2月26日(水)	「事業者への意見」に対する事 業者の見解
事業者の見解に 対する意見	令和2年3月5日(木)	「見解書」で示されなかった事 項について、事業者に対し、再度 見解を求めました。
見解書	令和2年3月10日(火)	「事業者の見解に対する意見」 に対する事業者の見解

令和元年度第1回審議会

第1回審議会では、環境と和歌山平井太陽光発電事業との調和について、市長より諮問が行われ、その後、和歌山平井太陽光発電事業の事業計画等の概観について審議が行われました。主な審議内容については、次のとおり。

- 防災及び生活環境について
 - ・ 調整池をはじめ土構造物については、下流域に非常に大きな影響を与える可能性があることから、長期的な維持・管理及び耐災性について検証することが重要である。
 - ・ 盛土の安定計算において、新規盛土の強度定数が、一つの土質試験結果に基づいて設定されているものの、現場でこの定数を確保・実証するのは難しいように思われる。
 - ・ ボーリング調査について、事業地全体に対して行われておらず、最低限の調査であると思われる。

- 景観について
 - ・ 和泉山脈の山並みは、市の骨格を構成するものであり市域のエッジで、景観上も非常に重要な場所である。
 - ・ 太陽光パネルが黒色であっても、自然の森林や地肌の中に異質な材質のガラスが配置されることになり、人間の目はその違いをしっかりと認識するため、太陽光パネルの配置については、色彩のみではなく、他の要素も満たさなければならない。

- 自然環境について
 - ・ 蛍の種類について、言及されていない。蛍の種類により必要となる対応は違ってくる。生物に関して、詳細に検討すべきだと思われる。
 - ・ ビオトープの広さや深さ、工法、維持管理の方法について、示すべきだと思われる。

令和元年度第2回審議会

第2回審議会では、環境と和歌山平井太陽光発電事業との調和について、審議が行われました。主な審議内容については、次のとおり。

- 防災及び生活環境について
 - ・ 盛土の安定計算について、内部摩擦角、粘着力等の妥当性及び地震時の安全率の妥当性について、審議が行われました。
 - ・ 災害発生時の対応等について、審議が行われました。
 - ・ 事業の影響範囲について、審議が行われました。

- 景観について
 - ・ 各眺望点の景観上の重要性について、審議が行われました。
 - ・ 事業者の景観への配慮のあり方について、審議が行われました。

- 自然環境について
 - ・ 生物調査の調査内容の妥当性について、審議が行われました。
 - ・ ビオトープのあり方について、審議が行われました。

令和元年度第3回審議会

第3回審議会では、環境と和歌山平井太陽光発電事業との調和について、審議が行われました。主な審議内容については、次のとおり。

- 防災及び生活環境について
 - ・ 斜面の安定計算について、審議が行われました。
 - ・ 災害、事故が発生した場合の対策等について、審議が行われました。
 - ・ 太陽光パネル架台の設計について、審議が行われました。

- 景観について
 - ・ 事業により生じる影響について、審議が行われました。

- 自然環境について
 - ・ ビオトープのあり方について、審議が行われました。

令和元年度第4回審議会

第4回審議会では、環境と和歌山平井太陽光発電事業との調和について、審議が行われ、事業者への意見がとりまとめられました。主な審議内容については、次のとおり。

- 防災及び生活環境について
 - ・ 事業者が追加実施した地質調査を踏まえ、斜面の安定計算について、審議が行われ、事業者への意見がとりまとめられました。
 - ・ 災害、事故が発生した場合の対策等について、審議が行われ、事業者への意見がとりまとめられました。
 - ・ 太陽光パネル架台の設計について、審議が行われ、事業者への意見がとりまとめられました。

- 景観について
 - ・ 景観について、審議が行われ、事業者への意見がとりまとめられました。

- 自然環境について
 - ・ 生物調査の調査内容の妥当性について、審議が行われ、事業者への意見がとりまとめられました。
 - ・ 動物群の生活環に応じた環境修復について、審議が行われ、事業者への意見がとりまとめられました。

令和元年度第5回審議会

第5回審議会では、事業者の見解を踏まえ、環境と和歌山平井太陽光発電事業との調和について、審議が行われました。主な審議内容については、次のとおり。

- 防災及び生活環境について
 - ・ 事業者の見解（斜面の安定計算、災害、事故が発生した場合の対策等、太陽光パネル架台の設計）について、審議が行われました。

- 景観について
 - ・ 事業者の見解について、審議が行われました。

- 自然環境について
 - ・ 事業者の見解について、審議が行われました。

令和元年度第6回審議会

第6回審議会では、環境と和歌山平井太陽光発電事業との調和について、審議が行われました。

主な審議内容については、次のとおり。

- 防災及び生活環境について
 - ・ 答申（斜面の安定計算、発電事業終了後の対応、太陽光パネル架台の設計）について、審議が行われました。

- 景観について
 - ・ 答申（景観計画との適合、景観構成要素としての太陽光パネル等）について、審議が行われました。

- 自然環境について
 - ・ 答申（生物の多様性と季節推移の把握と対策、動物群の生活環に応じた環境修復等）について、審議が行われました。

答 申

環境と和歌山平井太陽光発電事業との調和について、市長への答申が行われました。